

## 4月下旬まき業務用コマツナの有望品種の選定

宮澤直樹・小坂井宏輔  
(江戸川分場)

---

【要約】収量性が最も高く、生育の揃い・葉厚が良好な「里のなつ」、収量性・生育の揃いが良好で、特に葉が厚い「里まつり」、極立性で作業性が特に優れると思われ、収量性・生育の揃い・葉の厚さも良好な「ひと夏の恋」が有望である。

---

### 【目的】

コマツナは都内における生産量が野菜の中で最も多く、基幹作物である。また、コマツナの品種は多岐にわたり、生産現場では品種の業務用特性の把握が困難である。そこで本試験では4月下旬まき業務用コマツナの品種特性を明らかにし、有望品種を選定する。

### 【方法】

16品種(表2)を供試し、2023年4月26日に近紫外線除去フィルムを展張したパイプハウスに条間14cm、株間8cmで播種した。施肥は全量基肥で、N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>Oを12-12-12kg/10a施用した。雨天時のみ側窓を閉めて管理した。生育調査は播種37日後である6月2日に1区10株2反復で行った。

### 【成果の概要】

1. 生育前半は平年に比べて日照時間が多く、気温はやや高く推移したが、生育中盤である5月第2半旬以降は日照時間が少なく気温も低く推移した(表1)。生育調査時の草丈は30.8~44.5cmとなった。
2. 業務用コマツナで求められる品種特性は、収量性、揃い、立性、葉の厚さなどであるため、これらの点を考慮し、有望な品種を選定する。
3. 収量性について、本生育期間において、下葉調整後の調整重が重い品種は「里のなつ、こいしい菜、よかった菜、里まつり」であった。一方、調整重/草丈の値が高く、株張りが良い品種は「里のなつ、里まつり、ひと夏の恋、夏蒼天」であった。また、草丈の変動係数が低く生育の揃いが良い品種は「里まつり、里のなつ、春のセンバツ、ひと夏の恋」であった。
4. 作業性について、極立性で作業性が良好と判断される品種は「ひと夏の恋、春のセンバツ」であった。
5. 商品性について、収量性が上位の品種において、葉厚が平均値(0.45)以上である品種は「里まつり、里のなつ、春のセンバツ、夏蒼天、ひと夏の恋」である。
6. 以上の結果から、本作型においては、収量性が最も高く、生育の揃いが良く、葉も厚みがある「里のなつ」、収量性・生育の揃いが良好で、特に葉が厚い「里まつり」、極立性で作業性が特に優れると思われ、収量性・生育の揃い・葉の厚さも良好な「ひと夏の恋」が有望である。

### 【残された課題・成果の活用・留意点】

1. 作型や栽培年によって、生育や品質が異なることがあるので、留意する。

表1 栽培期間中の気温、日照時間の推移

月	半旬	平均気温(°C)						日照時間		降水量	
		日平均		日最高		日最低		本年	平年比	本年	平年比
		本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	(hr)	(%)	(mm)	(%)
4	6	18	+1.5	21.7	+1.3	15.1	+2.2	35	98	13	83
	1	18.3	+0.3	22.4	0.0	14.1	-0.2	55	131	0	0
	2	16.8	-1.1	21.0	-0.8	12.9	-1.2	35	110	90	683
	3	17.2	-2.1	20.7	-2.6	14.5	-1.4	15	45	15	77
5	4	20.7	+1.3	26.2	+3.0	16.5	+0.4	41	133	11	60
	5	19.0	-1.2	24.1	-0.1	14.8	-1.8	36	97	16	100
	6	20.7	-0.6	24.0	-1.1	18.6	+0.4	29	78	19	88

気象庁（江戸川臨海地点）のデータを使用。平年値は2013～2022年の10年間の平均値を使用した。

表2 4月下旬まき業務用コマツナの品種特性

No.	品種名	種苗会社 <sup>a</sup>	地上部重		草丈		調整重 <sup>b</sup> (g)	調整重/草丈	葉数(枚)	葉色(SPAD)	葉厚(mm)	中肋基幅(mm)	草姿 <sup>c</sup>
			(g)	c. v.	(cm)	c. v.							
1	里のなつ(MSX-1288)	ム	135.7	14.1	34.6	2.8	129.1	3.7	11.9	59.3	0.47	20.1	立
2	こいしい菜	カ	134.7	18.4	39.5	4.2	125.6	3.2	12.1	47.4	0.42	20.5	立
3	よかった菜	カ	134.4	18.6	44.5	4.3	126.4	2.8	11.9	46.6	0.34	18.3	中
4	美翠	ワ	130.4	30.8	35.0	4.2	117.9	3.4	12.2	48.4	0.40	22.0	立
5	里まつり(MSX-1243)	ム	130.0	18.2	32.8	2.5	121.8	3.7	11.9	50.6	0.54	21.1	中
6	神楽坂	ニ	127.5	29.5	38.1	7.1	119.1	3.1	10.9	47.2	0.39	20.7	中
7	いなせ菜	カ	122.8	18.8	40.3	4.8	111.7	2.8	10.7	44.7	0.39	19.2	立
8	ひと夏の恋	ニ	122.1	20.3	34.1	3.2	118.5	3.5	10.8	56.4	0.45	21.2	極立
9	里しずく	ム	121.5	32.4	37.7	6.2	107.6	2.9	10.1	43.7	0.45	20.1	やや開
10	夏蒼天(TTU-566)	タ	114.9	24.8	30.8	5.5	109.2	3.5	11.7	56.1	0.47	19.7	立
11	春のセンバツ	ト	113.2	16.8	33.9	3.0	105.2	3.1	10.5	48.2	0.49	20.8	極立
12	乃木坂	ニ	109.8	17.7	34.3	3.4	105.1	3.1	11.6	55.8	0.46	17.8	立
13	菜々美	タ	107.0	29.8	35.1	5.2	100.2	2.9	10.0	44.5	0.52	19.4	立
14	のりちゃん	ユ	106.3	29.0	31.7	4.3	100.1	3.2	12.1	52.1	0.50	16.9	立

4月26日播種，6月2日調査。調査は1区10株2反復で実施した。そのうち，各区の草丈が最大および最小の株を除き，各項目の平均値およびc. v.を算出した。

a)ニ(日本農林社)，カ(カネコ種苗)，ム(武蔵野種苗園)，サ(サカタのタネ)，ト(トキタ種苗)，ユ(雪印種苗)，ワ(渡辺農事)，タ(タキイ種苗)

b)カッピング： $[\Sigma(\text{指数} \times \text{指数別株数}) / \text{調査株数}]$  指数：1(弱)，2(やや弱)，3(中)，4(やや強)，5(強)

c)草姿：極立～立～中～やや開～開